

<「知るっば!久留米」 令和2年6月25日(木) 12:30~放送分>

久留米の防災 ～第4回～ 大雨直後の行動

<ゲスト：久留米市防災対策課 主査 湯口 秀隆さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば!久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

6月は雨のシーズンということで、『久留米の防災』というシリーズでお送りしてきました。

このシリーズも4回目で最後になります。

今回もゲストはこの方です。

ゲスト 湯口秀隆さん (以下「湯口」)

久留米市役所総務部防災対策課の湯口と申します。

よろしくお願いします。

坂本 今回のテーマは、『大雨直後の行動』についてです。

大雨直後というか、災害が起きてしまったら、その後、どのように行動したらいいのかということですね。

大雨や災害に備える防災のお話はよく聞くのですが、大雨が起きてしまった時、その直後に取るべき行動や、逆にやっちゃダメなことについて教えてください。

湯口 まず、大雨直後に取るべき行動ということで、大雨になる前には避難をしていただくことが大事なんですけど、大雨の中、避難をする際に気を付けていただきたいのは、まずは服装ですね。

服装は、長袖、長ズボンや軍手を身に着けて避難されるといいと思います。

それから、長靴を履いて避難をされる方がたまにいらっしゃいますが、長靴だと浸水した道路などを歩いていると長靴の中に水が入ってきますので、靴はなるべく歩きやすいスニーカーなどで避難される方がいいですね。

坂本 長靴の中に水が入ると重くなって歩きにくいってことですよね？

湯口 そうですね。

それから、避難所には行かずに自宅にとどまる『在宅避難』をされる際は、できるだけ2階など高い場所ですとか、土砂災害の危険がある場合は、斜面から離れた反対側の部屋に避難するといいと思います。

あと、避難する際に冠水した道路を進む場合、水で足元がよく見えませんので、マンホールや側溝に注意していただきたいと思います。

特に夜間に避難する際は、足元を棒や杖で確認しながら避難することが大事ですね。
過去の事例ですが、11年くらい前に兵庫県の佐用町というところで発生した豪雨災害なんですが、この時かなりの降雨がありまして、隣近所の方が集団で避難をされていました。
その時は夜間だったので足元がよく見えず、増水した用水路に入ってしまったので10人くらいが一緒に亡くなられたということがありました。
そういうこともありますので、『道路が冠水してしまったら、自宅にとどまる』という判断も必要ではないかと思います。

坂本 それは怖いですね。水も濁っているし、暗いと足元が見えないので用心して欲しいと思います。
それでは、雨も上がって水が引いてくることもあるかと思いますが、その時に避難先から自宅に帰るタイミングについて教えてください。

湯口 避難先から帰るタイミングですが、特に土砂災害については、雨がやんでもしばらくは危険な状況にあります。
土砂災害の場合、土砂の中に含まれている雨量を計算して、避難発令の解除を市で判断しています。
市は、警報や注意報、気象情報など総合的に判断をした上で避難勧告等の解除を行いますので、解除後に避難先から自宅に戻るようお願いします。

坂本 雨がやんでもひょっとすると土砂崩れが起きるかもしれないので、『市からの解除のお知らせを待ってください』ということですね。
では、もし自宅に帰ってみたら浸水や土砂災害などで被災していた時は、どうしたらいいですか？

湯口 もし、自宅などが被災してしまった場合は、市で色々な支援を行っております。
まず、罹災証明の申請受付や被災された家屋の消毒ですね。
それから、災害ゴミなども出ると思いますので、その収集も行います。
水害でお布団が濡れたりして使えなくなった場合は、『お布団の貸し出し』や『お見舞い金』もあります。
あとは、『固定資産税の減免』や『災害ボランティアのご相談』ですね。
その他にも、農業をされている方については『農業相談』や『事業相談』があります。
大きな災害の時には、そういった相談をまとめて対応する『市民相談窓口』を設置しますので、そことご相談いただけるといいかと思います。

坂本 災害発生後はワンストップ窓口ができますので、ぜひそちらにご相談ください。
今は梅雨のお話をしていますが、大雨の後は台風のシーズンがやってきます。
台風シーズンを前に、市民のみなさまにメッセージをお願いします。

湯口 台風の際は、毎年、自主避難所の設置などを行ってきました。
しかし、今年は新型コロナウイルスの影響もありますので、感染症のリスクも考慮しまして、避難所

を開設しない方向で検討しております。

通常の新型コロナウイルス等の影響がない時は、市内が暴風域に入る際は自主避難所を設置していますので、久留米市公式ホームページや広報誌でお知らせをさせていただきたいと思っています。

また、避難が必要な場合は、雨風が強くなる前の避難を心がけてください。

強風の中の避難は逆に危ないので、ぜひ早めの避難をお願いします。

坂本 湯口さん、どうもありがとうございました。

久留米市では、大雨が降った際の危険箇所を詳しく確認できる『ハザードマップ』を公式ホームページでご覧いただけます。

また、緊急速報メールやドリームス FM の緊急告知防災ラジオなどで、避難情報や災害情報を発信しています。

大雨備えて、防災意識を高めていきましょう。